

職 名	准 教 授
所 属	総 合 科 学 科
フリガナ 氏 名	アカヤマ コウタロウ 赤 山 幸 太 郎 kakayama@ge.kochi-ct.ac.jp
学 位	修士 (文学) (広島大学 1996)

1. 履 歴

学 歴	2001. 3 広島大学大学院文学研究科博士課程後期単位修得退学
職 歴	1998. 4 福山大学 (非常勤講師、担当: 英語関連科目~2001.3.) 2001. 4 高知高専 人文科学系 (専任講師、担当: 英語関連科目) 2006.10 高知大学 (非常勤講師、担当: 英語専門科目「アメリカ文学演習Ⅱ」) 2007. 4 高知高専 総合科学科 (専任講師、担当: 英語関連科目) 2010. 4 高知高専 総合科学科 (准教授、担当: 英語関連科目)

2. 講義・委員会等

講 義 科 目	本 科: 英語 I、英語演習基礎 I、総合英語 I、英語特論
学内委員会等	2002. 4 - 合気道部顧問、副顧問 2007. 4 - 2008. 3 教務委員、進路支援室副室長 2008. 4 - 2009. 3 寮務主事補佐、寮務委員、進路支援室副室長 2009. 4 - 2010. 3 寮務主事補佐、寮務委員 2010. 4 - 2011. 3 1年2組担任、リエゾン・企画委員 2011. 4 - 2012. 3 電気情報工学科2年担任、リエゾン・企画委員 2012. 4 - 2013. 3 教務委員、リエゾン・企画委員 2013. 4 - 2014. 3 1年3組担任、国際交流室室長 2014. 4 - 2015. 3 教務委員 2015. 4 - 1年4組担任

3. 研究活動

専 門 分 野	アメリカ文学、批評理論、現代思想
所 属 学 会	日本アメリカ文学会、日本英文学会、日本フォークナー協会、日本語用論学会、 日本認知言語学会
研 究 テ ー マ	1) William Faulkner 主要作品の研究 2) 批評理論 (哲学、精神分析、言語学、記号論、社会学、政治学、経済学、法学、 文化人類学、等)
主要論文・著書等	<p>【著書】</p> <p>1) 『アメリカ文学における階級一格差社会の本質を問う』(共著) (英宝社、2009年)</p> <p>2) 『フォークナー事典』(共著:分担執筆) (松柏社、2008年)</p> <p>【論文】</p> <p>1) 「『エルサレムよ、我もし汝を忘れなば』における<生存の技法>-フォークナーの「ロマン主義」批判-」『中・四国アメリカ文学研究』第48号、pp.1-12、2012年6月</p> <p>2) 「『村』におけるスノープシズムの精神解剖学-フォークナーの喜劇的「資本主義」批判-」『中・四国アメリカ文学研究』第47号、pp. 1-12、2011年6月</p> <p>3) 「William Faulkner の小説における啓蒙的理性批判-「法の暴力」を超えて」『中・四国アメリカ文学研究』第39号、pp.33-43、2003年6月</p> <p>4) 「William Faulkner の小説における「喪の作業」と旧南部の「亡霊」」『中・四国アメリカ文学研究』第36号、pp.33-43、2000年6月</p> <p>5) 「言葉とくもの>-Quentin Compson の「死」とWilliam Faulkner の「創作」をめぐる考察-」『英語英文学研究』第43巻、pp.93-105、1999年3月</p> <p>6) 「Joe Christmas の主体化と Ideology の再生産 -Light in August における反復構造をめぐる」『中・四国アメリカ文学研究』第34号、pp.23-33、1998年6月</p> <p>【翻訳】</p> <p>1) アン・グッドウィン・ジョーンズ著「ライク・ア・ヴァージン」-フォークナー、性文化、抵抗のロマンス』『フォークナー』第4号、pp.100-116、2002年4月</p>